

K-RELEASE VOL.203

企業局情報通信

静岡県企業局
 ● 電話 054-221-2153
 ● F A X 054-251-5381
 発行 令和3年4月26日

工業用水道利用促進インセンティブ制度の御案内

(静岡県企業局工業用水道新規顧客開拓成功報酬制度)

企業局では工業用水道の新規顧客を開拓するため、新たに成功報酬型の受水希望者紹介制度を創設しました。

これは、御紹介いただいた事業者様との間で給水契約の締結に至った場合には、情報を御提供いただいた事業者様に対し、契約水量に応じて報酬をお支払いする制度です。

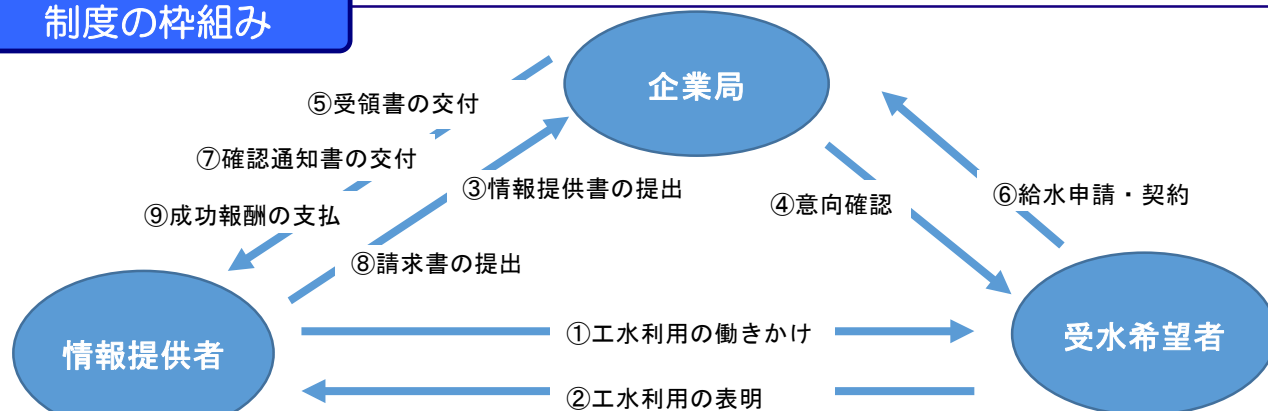
現在工業用水を御利用いただいているユーザー様も本制度の対象であり、新たに御契約いただいた契約水量に応じて、情報をお寄せいただいたユーザー様の基本料金を減免させていただきます。

(※報酬支払の対象となる契約水量は 100 m³/日以上です)

本制度の対象

- ・建設業法の許可を受けて建設業を営む事業者様
- ・建築士法の登録をして設計等を行うことを業とする事業者様
- ・宅地建物取引業法の免許を受け宅地建物取引業を営む事業者様
- ・金融機関、企業支援事業者様
- ・企業局が管理する工業用水道のユーザー様

制度の枠組み



※詳細は企業局ホームページ掲載の実施要綱を御覧ください。

成功報酬のお支払い

区分	柿田川	富士川	東駿河湾	静清	中遠・西遠・湖西
報酬単価	300 円	210 円	390 円	600 円	960 円

※報酬単価は契約水量（日量）1 m³あたりの額

例えば

中遠工業用水で 1,000 m³/日の給水契約締結に至った場合
 960 円×1,000 m³=960,000 円 をお支払いします。

(工業用水道ユーザー様の場合は該当月の使用料金から 960,000 円を減免します)

皆様からの情報提供をお待ちしております！

技術発表会を実施しました

企業局の工業用水道及び水道事業の施設や設備は、更新の時期を迎えつつあります。しかし、経験豊富な技術職員は年々減少しており、長年の経験により蓄積した知識やノウハウを必要とする水道技術の継承は大きな課題となっています。

このため、各事務所での施設管理に関する取組や事故・故障等への対応事例などについて学び、水道技術に関する知識の向上と情報の共有を図る事を目的に「技術職員研修（技術発表会）」を実施しています。

*今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全職員が視聴できるよう Zoom を使用し YouTube にてライブ配信により開催いたしました。

6つの発表項目の中から、優秀賞に選ばれたのは東部事務所柿田川支所 村田主査の「駿豆水道 中央監視装置改築工事の設計に際して」です。

この取組は、次頁でも紹介する「ひとり1改革運動 企業局最優秀賞」にも選ばれました。

<発表項目>

東部事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・真空遮断器投入不具合報告 ・駿豆水道 中央処理装置改築工事の設計に際して ～設計概要と関連技術～ ・水管橋塗装塗替えに伴う塗膜除去工法の選定について
西部事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月大雨による高濁度に対する汚泥処理の取組 ・消毒設備の注入方法の検討 ・漏水事故0を目指す榛南浄水場の取組 ～ウォーターハンマーに注意した安全弁移設～

<優秀賞を受賞した取組>

浄水場設備の一部改築工事において、工事と完成後の維持管理をセットにした新たな契約方式「ビルドメンテナンス契約（BM契約）」を静岡県で初めて試行しました。

その結果、維持管理費を30%削減する効果が得られました。

また、2つの浄水場の中央監視システムの仕様を統一して一括発注し、状態の良い既設設備を流用することでコスト削減が図られました。



発表者記念撮影



優秀賞受賞者の発表

日々の工夫や新たな先進的な取組事例の紹介など、非常に充実し、有効な内容となりました。今後の維持管理業務や改築事業の参考とし、この技術発表会を明日以降の現場に活かすよう努めてまいります。

ひとり1改革運動 ～企業局の取組紹介～

静岡県では、「ひとり1改革運動」として、職員が日ごろの業務について創意工夫をし、事務の効率化やサービスの向上に取り組んでいます。

企業局においても、職員一人ひとりがコスト意識を持って日々の業務に取り組み、経費節減につながるよう努めています。

令和3年3月26日には、企業局内での優秀事例を表彰する「ひとり1改革運動 企業局長表彰」を行いました。今回受賞したのは以下の4事例です。

受賞所属	取組内容	
水道企画課 東部事務所柿田川支所	設備工事と保守点検業務（長期）の一括発注～BM（ビルドメンテナンス）契約を導入～	最優秀賞
経営課	創意工夫・コスト削減事例集の作成	優秀賞
水道企画課	管路更新工事で既設管を有効活用	優秀賞
地域整備課	経済効果の最大化を目指した用地供給	優秀賞

<審査所見>

ビルドメンテナンス契約については、静岡県初の事例となるため、水道企画課・東部事務所が合同で打合せを実施する等、企業局が一つになり、設計・入札契約等の様々な課題の調査・検討に取り組んだ。

今後も同様の取組を進める予定であり、今年度は3件でこの契約方式を予定している。

維持管理費が多額となる大規模な施設整備の場合、本手法によりコストメリットが生じる可能性が非常に大きいため、他部局にも積極的に情報提供を行っていく。



企業局長から講評を受ける様子



局最優秀賞受賞の様子

今後も、身近な改善への取組を大切にし
全国一の企業局を目指してまいります。

水道事業の業務状況(令和3年3月25日現在)

3月の使用水量は、前年度同期で、駿豆水道は95.8%、榛南水道は93.2%、遠州水道は97.6%と減少し、全体では97.1%となっています。

(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			2月分	累計	2月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	2,800	36,500	801	10,574	29.0
	前年度同期	100	2,900	36,600	836	10,969	30.0
	前年度同期比	100.0	96.6	99.7	95.8	96.4	
榛南	当該年度	27	756	9,855	407	5,503	55.8
	前年度同期	27	783	9,882	437	5,581	56.5
	前年度同期比	100.0	96.6	99.7	93.2	98.6	
遠州	当該年度	292	8,179	106,617	4,731	61,014	57.2
	前年度同期	292	8,471	106,909	4,846	59,337	55.5
	前年度同期比	100.0	96.6	99.7	97.6	102.8	
合計	当該年度	419	11,735	152,972	5,939	77,091	50.4
	前年度同期	419	12,154	153,391	6,119	75,887	49.5
	前年度同期比	100.0	96.6	99.7	97.1	101.6	

工業用水道事業の業務状況(令和3年3月25日現在)

3月の使用水量は、前年度同期比で、柿田川工水は96.6%、富士川工水は84.7%、東駿河湾工水は95.0%、静清工水は97.9%、中遠工水は93.2%、西遠工水は99.7%、湖西工水は94.9%と減少し、全体では95.2%となっています。

(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			3月分	累計	3月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	2,800	36,500	2,685	35,072	96.1
	前年度同期	100	2,900	36,600	2,779	35,119	96.0
	前年度同期比	100.0	96.6	99.7	96.6	99.9	
富士川	当該年度	27	763	20,670	546	6,352	30.7
	前年度同期	106	3,071	38,448	645	12,639	32.9
	前年度同期比	25.8	24.9	53.8	84.7	50.3	
東駿河湾	当該年度	364	10,203	133,948	6,897	88,406	66.0
	前年度同期	367	10,633	134,790	7,258	90,028	66.8
	前年度同期比	99.3	96.0	99.4	95.0	98.2	
静清	当該年度	52	1,542	18,622	965	12,576	67.5
	前年度同期	52	1,546	18,753	986	12,756	68.0
	前年度同期比	100.0	99.8	99.3	97.9	98.6	
中遠	当該年度	42	1,186	15,445	403	5,006	32.4
	前年度同期	42	1,225	15,508	432	5,568	35.9
	前年度同期比	100.3	96.8	99.6	93.2	89.9	
西遠	当該年度	34	1,000	12,549	571	7,359	58.6
	前年度同期	35	1,025	12,717	573	7,341	57.7
	前年度同期比	98.6	97.5	98.7	99.7	100.3	
湖西	当該年度	17	496	5,954	279	3,679	61.8
	前年度同期	17	496	5,987	294	3,827	63.9
	前年度同期比	100.1	100.0	99.4	94.9	96.1	
合計	当該年度	636	17,991	243,688	12,346	158,450	65.0
	前年度同期	718	20,896	262,802	12,966	167,279	63.7
	前年度同期比	88.6	86.1	92.7	95.2	94.7	